


























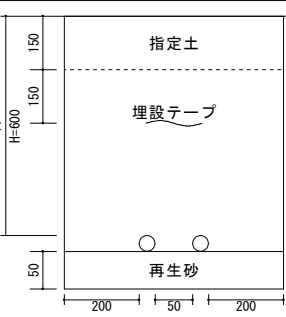
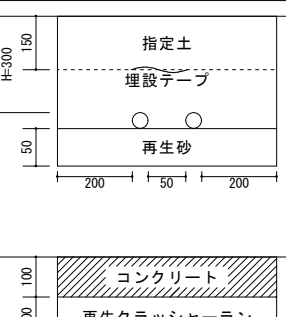
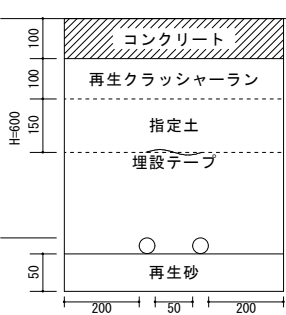
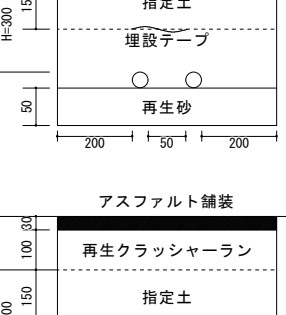
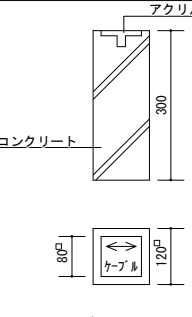
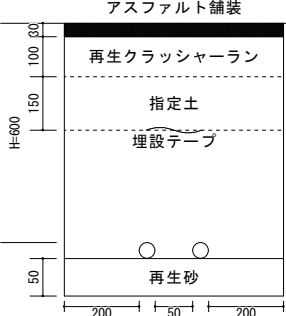
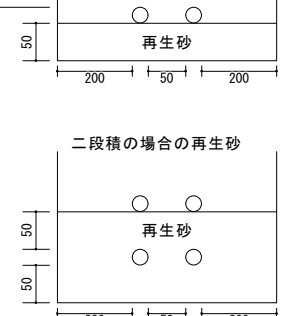
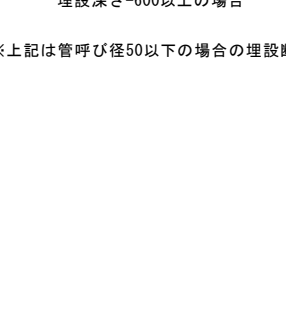
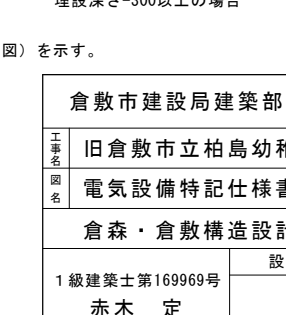
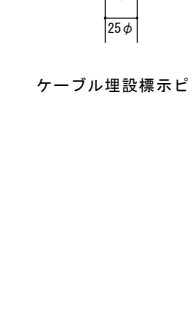
電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書												
Ⅰ 工事種目												
<div>○ 電 灯 設 備</div> <div>○ コンセント設備</div> <div>○ 動力設備</div> <div>・ 雷保護設備</div> <div>・ 変電設備</div> <div>・ 直流電源設備</div> <div>・ 交流無停電電源設備</div> <div>・ 自家発電設備</div> <div>・ 太陽光発電設備</div> <div>・ 構内情報通信網設備</div> <div>・ 構内交換設備</div> <div>・ 電話配管設備</div> <div>○ 時刻表示設備</div> <div>・ 拡声設備</div> <div>○ インターホン設備</div> <div>・ トイレ等呼出設備</div> <div>・ テレビ共同受信設備</div> <div>・ 監視カメラ設備</div> <div>・ 防犯設備</div> <div>○ 自動火災報知設備</div> <div>・ 自動閉鎖設備</div> <div>・ ガス漏れ警報設備</div> <div>・ 警備配管設備</div> <div>・ 構内配電線路設備</div> <div>・ 構内通信線路設備</div>												
Ⅱ 一般共通事項												
特記事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。												
項 目	特 記 事 項											
1 電気工作物の種類	・事業用 ○一般用											
2 契約種別	○小売電気事業者（中国電力） ○従量電灯（○A ・B） ○低圧電力 ・業務用電力 ・公衆街路灯 ・定額電灯 ・											
3 環境への配慮	公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第1章第4節1.4.1「環境への配慮」による。											
4 機 材 等	本工事に使用する設備機材は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受けること。 また、（一社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって、所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出するものとする。											
5 機材の品質等	公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第1章第4節1.4.2「機材の品質等」による。											
6 電 気 工 事 士	契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。											
7 配線・配管材料	電線、ケーブル、同付属品及び電線管、同付属品はJIS規格表示工場製品とする。											
8 電線管の塗装	露出配管で、鋼製電線管は下記の塗装を行う。 屋内：エッチングプライマー（JIS K 5633 1種）1回塗り+鉛・cadフリーさび止めペイント（JIS K 5674）1回塗り+合成樹脂調合ペイント（JIS K 5516 1種）2回塗り 調合塗料は、ホルムアルデヒド等の放散量を考慮し、F☆☆☆☆を使用する。 屋外：エッチングプライマー（JIS K 5633 1種）1回塗り+鉛・cadフリーさび止めペイント（JIS K 5674）1回塗り+合成樹脂調合ペイント（JIS K 5516 2種）2回塗り											
9 導 入 線	・不用 ※長さ1m以上入線しない管路には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 （上階増設用予備配管を除く）											
10 フラッシュプレート	・ステンレス ・合成樹脂（色は監督員と協議すること） ※新金属											
11 フロアプレート	水平高低調整付プレート（空転防止リング付とする。）											
12 ブルボックス仕上げ等	金属ブルボックスの露出部はメラミン焼付け指定色塗装とする。											
13 ブルボックス・ブランクカバー等の用途別表示	電灯（  ）、動力（  ）、電話（  ）、電気時計（  ）、放送（  ）、表示（  ）、インターホン（  ）、テレビ共聴（  ）、火災報知（  ）、警備（  ）、防火扉（  ）、警報（  ）、電極・電磁弁（  ）情報（  ）、集中検針（  ） 屋内：シール 屋外：エッチング又はアルミシール											
14 電線本数・管路等	配管配線の経路、電線サイズ、電線本数及び管路サイズなどは、監督員と協議により図面表示と多少増加させてよい。											
15 電 線 の 表 示	盤及びブルボックス内は丸れ、ハンドホール内はブラッシングにて下記の表示を行う。 用途、線種、経路、回路名（番号）											
16 接続スリーブ	原則として、肉厚0.5mm以上の圧着スリーブを使用する。											
17 配線器具の取付ビス	黄銅製又はステンレス製ビスを使用する。											
18 引留め金具等	フックボルト（DⅤ14 [□] 相当以下） アンカーボルト（DⅤ22 [□] 相当以上）											
19 照明器具の接地	接地端子付照明器具は全て接地する。 接地線は原則としてEM-IE1.6mm以上とする。 ただし、ケーブルの心線数を追加して（配線と同一サイズ）使用してもよい。											
20 接 地 極	右記による。 <table><tr><th>種 別</th><th>接 地 極</th></tr><tr><td>接地抵抗 10Ω以下</td><td>EP 900 × 900 × 1.5t</td></tr><tr><td>〃 50Ω以下</td><td>EP 900 × 900 × 1.5t</td></tr><tr><td>〃 100Ω以下</td><td>EB 14φ - 1500mm（銅棒）</td></tr><tr><td>測定用補助接地極（Ep、Ec）</td><td>EB 10φ - 1000mm（銅棒）</td></tr></table>		種 別	接 地 極	接地抵抗 10Ω以下	EP 900 × 900 × 1.5t	〃 50Ω以下	EP 900 × 900 × 1.5t	〃 100Ω以下	EB 14φ - 1500mm（銅棒）	測定用補助接地極（Ep、Ec）	EB 10φ - 1000mm（銅棒）
種 別	接 地 極											
接地抵抗 10Ω以下	EP 900 × 900 × 1.5t											
〃 50Ω以下	EP 900 × 900 × 1.5t											
〃 100Ω以下	EB 14φ - 1500mm（銅棒）											
測定用補助接地極（Ep、Ec）	EB 10φ - 1000mm（銅棒）											
21 接地極埋設標示	ただし、規定値以上の場合は接地極の数を増やす。 ・接地標示杭（埋設標示杭と同形） ※黄銅板製（掘り込み式） ・ステンレス板製 ・接地埋設標示ピン											
22 ハンドホール、マンホール	ハンドホール、マンホール内ではケーブル支持材又はコンクリートブロック（ゴムシートを取り付け）等でケーブルを支持する。 鉄蓋は鋳造流し込みで用途名を表示する。 鎖はステンレス製とし、シャックルで固定する。											
23 防火区画貫通部の耐火処理	電線管、金属ダクト、ケーブルラック等が防火区画を貫通する場合は、建築基準法による施工を行う。											
24 再使用機器	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗を測定のうえ取り付け。											
25 改修工事における既設設備試験測定	改修工事の着手前・竣工時に既設電気設備の絶縁、接地抵抗の測定及び弱電機器の動作確認を実施し、試験成績書を監督員に提出する。											
26 既存の改造・増設	今回改造、増設するものについては、既存を含め図面を修正し完成図として納める。											
27 PCB使用機器の撤去	撤去する器具類でPCB使用のコンデンサー、安定器等は「特別管理産業廃棄物保管基準」（廃棄物処理法施行規則第8条の13）に基づき保管する。ただし、保管場所は別途指示する。											
28 絶縁油中のPCB分析	変圧器、進相コンデンサー、遮断器などの絶縁油中のPCB分析は下記による。 分析方法 GC-ECD法（ガスクロマトグラフ） 分析定量下限値 0.1mg/kg（0.1ppm）											



項 目	特 記 事 項
29 屋外配管・機器の取付	屋外、多湿箇所の配管、機器の取付材はステンレス製、高耐食性めっき鋼板又は溶融亜鉛メッキ仕上げのものとする。 屋外取付のブルボックス及び皿類には水抜き穴を設ける。
30 予備品・工具	・照明器具のランプ（別記） ・配電盤ヒューズ、ランプは現用数 ・ハンドホール開閉工具
31 鍵	プラスチック板に各名称を彫り込みしたものを取付け、2組納入する。
32 耐 震 施 工	設備機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針」（2014年度版）による。 建物の種別 ・特定の施設 ・一般の施設 重要機器 ・配電盤 ・自家発電装置 ・交換機 ・直流電源装置 ・UPS装置 ・火災報知受信機 ・中央監視装置 ・
33 防 振 ゴ ム	防振ゴム等に東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、使用承諾願と併せて、第三者機関による品質を証明する書類を提出すること。
34 電 線 ・ ケ ー ブ ル	※環境対策型 ・非環境対策型 ポリエチレンケーブル又は架橋ポリエチレンケーブルのシースを剥ぎ取った後の絶縁体に直射日光又は紫外線があたる恐れのある場合は、黒色の自己融着テープ又は収縮チューブを用いて紫外線対策処理のうえ、色識別テープを巻き付けること。 接地線は、緑色、緑/黄又は緑/色帯のEM-IE電線等を使用し、その太さは公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第2編第2章第13節2.13.9「接地線」による。 ただし、ケーブルの一芯を接地線として使用する場合は、緑色の芯線とする。
35 本受電後の電力基本料金	【高圧受電設備がある施設の新設・改修時（着事前に電力契約を廃止できる場合）】 ・完成引渡しまでの電力基本料金は受注者の負担とする。 【高圧受電設備がある施設の改修時（着事前に電力契約を廃止できない場合）】 ・着事前に既設デマンド値を確認し、改修後に既設デマンド値を超えないようにすること。 （必要に応じて動力機器の試運転スケジュール等を提出すること）

Ⅲ 盤共通仕様	
特記事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。	
項 目	特 記 事 項
1 盤 名 称	 電灯盤  動力盤  端子盤  保安器盤  安定器盤 等を標準とする。
2 回路・機器名称	エッチングプレート又は、タイプ印字した紙をカードホルダーに挿入したものとする。
3 機 器	単相3線式回路に設ける400A以下の電灯盤の主幹MCCB、ELCBは中性線欠相保護機能付とする。 ただし、負荷側電線路に中性線欠相保護機能付遮断器が施設されている場合を除く。 破線表示の機器は非実装とするが、実装のための加工は全て行い、必要に応じてブランクパネルの取り付けを行う。 分岐銅バーについては納品する。
4 非 実 装 回 路	
5 扉 の 接 地	扉面に強電機器（60V以上）を取付ける場合は、扉に接地を施す。
6 電 線 ・ ケ ー ブ ル	盤内配線に使用する絶縁電線・ケーブルは可能な限り環境対策型を使用する。

Ⅳ 配線・配管の表記	
図中特記なきものは下記とする。	
項 目	特 記 事 項
1 施工種別	JIS C 0303及び公共建築設備工事標準図によるほか、以下のとおりとする。 ただし、図面内に特記がある場合はそちらによる。 <div><div><div>—————</div><div>-----</div><div>- - - - -</div><div>-----</div></div><div>天井内ころがし配線（屋内）</div><div><div><div>—————</div><div>-----</div><div>- - - - -</div><div>-----</div></div><div>床いんべい配線</div><div><div><div>—————</div><div>-----</div><div>- - - - -</div><div>-----</div></div><div>露出配線</div></div><div><div><div>—————</div><div>-----</div><div>- - - - -</div><div>-----</div></div><div>地中埋設配線（屋外）</div><div><div><div>—————</div><div>-----</div><div>- - - - -</div><div>-----</div></div><div>架空配線</div></div></div></div></div>
2 配線種別	電線管の施工方法の表記は下記による。 （ ） いんべい （（ ）） 露出 （キセツ） 既設管に入線 IE電線 : IE EM-CEEケーブル : CEE EM-EEFケーブル（1.6-2C） : F2 EM-AEケーブル : AE 〃 （1.6-3C） : F3 EM-HPケーブル : HP 〃 （2.0-2C） : 2F2 EM-S-（n）C-FB : （n）C-FB （例：5C-FB） 〃 （2.0-3C） : 2F3 EM-UTPケーブル : UTP（n） （例：UTP6A） EM-CEケーブル : CE
3 配管種別	ネジなし電線管 : （E） 合成樹脂製可とう電線管（1重管） : （PF） 薄鋼電線管 : （C） 耐衝撃性硬質ビニル管 : （HIVE） 厚鋼電線管 : （G） 難燃性波付硬質ポリエチレン管 : （FEP） 硬質ビニル管 : （VE） ビニル被覆付2種可とう電線管 : （F2WP） C D管 : （GD） 1種金属線び : （MMO）（例：MMA）
4 表記例	※厚鋼電線管は、溶融亜鉛メッキ（付着量300g/m2以上）とする。 露出配管を施工する場合は、美観を損なわないような配管色とする。 <div><div><div><div>○○△△</div><div>□□</div></div><div>○ ○ ○ ○ : 配線種別</div><div>△ △ △ △ : 配管種別</div><div>□ □ □ □ : 心数</div><div>/ : 線数（表記なき場合は1本とする）</div></div><div>～ 例 ～ ———^{2F3}——— EM-EEF 2.0mm-3C ×1（天井ころがし） ———^{1E2(E19)}——— EM-IE 2sq×3（E19） HPO.9((VE22)) ———^{3P}——— EM-HP 0.9mm-3P ×1（(VE22)） UTP6A((MMA)) EM-UTP 0.5mm-4P cat6A ×1（MMA）</div>※電線・ケーブルサイズのmm、mm²を表す記号を省略しているものについては、サイズに応じて判別すること。</div>

Ⅴ 地中埋設仕様	
特記事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。	
項 目	特 記 事 項
1 埋 戻 し 土	掘削土の中の良質土又は監督員の承諾する土とする。 指定土については現場に応じて特記にて指定、指定なき場合は掘削周辺と同一とする。 締固め（転圧）は埋戻し30cm以下毎に行う。
2 テ ー プ ・ 標 識	埋設テープは複式（2倍折以上）とする。 ケーブル埋設標示杭は下図参照。図示する箇所（図示記号  （○○））に設ける。 ケーブル埋設標示ピンは下図参照。図示する箇所（図示記号  （○○））に設ける。 （注）○○には用途・種別を示す。 （参考例）埋設標示杭・・・高圧（図示記号  （高圧）） 埋設標示ピン・・・接地極ED（図示記号  （ED）） （接地極埋設標は  と表記） ケーブル埋設標示板は80 [□] アクリル板とし、白地に埋設方向を示す矢印（電力用：赤、通信用：黄）及びケーブル又は高圧ケーブルの文字（黒）をエッチングにて記入する。 接地標示板は、80 [□] アクリル板とし、白地に標準図に示す接地種別の表示（黒）をエッチングにて記入する。
3 そ の 他	新設ハンドホールの穴明けは原則工場加工とし、既設ハンドホールの穴明けはダイヤモンドカッターを使用する。コア抜き等で発生したコンクリート殻は適正に処理し、報告すること。 埋設断面は下図参照。
4 地下埋設物調査	工事着手前に施工範囲内の地下埋設物等（電話線、送電線、ガス管、上下水道管、光ケーブル、その他）について、貸与資料（既存完成図、設備図等）及び周辺状況等の確認を行うものとする。 地下埋設物が予想される場合には、監督員に報告の上、地下埋設物管理者と協議を行い埋設物の位置・規模・構造等を確認するものとする。施工中に不明管等を発見した場合、埋設物等に関する調査を再度行い埋設物の管理者を確認した上で、当該管理者の立会いを求め、安全を確認した後、適切に処理するものとする。

				
				
※上記は管呼び径50以下の場合の埋設断面図（参考図）を示す。				

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事		
図名	電気設備特記仕様書		
倉森・倉敷構造設計共同体			
1級建築士第169969号	設計担当	令和7年 2月作成	
赤木 定		図番	E - O 1

電灯分電盤
鋼製 壁掛型
W:450 x H:380 x D:160
・MCCB 2P 50/ 20AT x 3
・ELCB 2P 50/ 20AT x 1
・端子台 20P x 2
・接地端子台 3P x 1

D棟屋外コンセント盤
鋼製 壁掛型
W:200 x H:300 x D:100
・防水コンセント 2P15A×2 x 1

A棟屋外コンセント盤
鋼製 壁掛型
W:550 x H:680 x D:230
・MCCB 3P 50/ 40AT x 1
・ELCB 2P 50/ 20AT x 1
・防水コンセント 2P15A×2 x 1

引込開閉器盤
鋼製 壁掛型
W:350 x H:1130 x D:220
・MCCB 3P 60/ 30AT x 1
・ELCB 3P 60/ 30AT x 1
・電力量計 x 1

引込計器盤 (L-1)
鋼製 壁掛型
W:800 x H:730 x D:230
・MCCB 3P100/ 75AT x 1
・MCCB 2P 50/ 20AT x 3
・1級漏電火災警報器 x 1
・電力量計 x 1

保安器盤
鋼製 壁掛型
W:300 x H:340 x D:200
・電話保安器 x 1

※A 電気設備工事にて解体前に撤去	
CV8 [□] -3C	メッセン22 [□]
HP0.9-4C	メッセン22 [□]
AE0.9-3P	
5C-2V	
HP0.9-5P	

※B 電気設備工事にて解体前に撤去	
CV8 [□] -3C	メッセン22 [□]
HP0.9-4C	メッセン22 [□]
AE0.9-3P	
5C-2V	
HP0.9-5P	

※特記事項	
・解体（建築工事）範囲内の地中配管等は、	
解体にあわせて全て撤去すること。	
・撤去する照明器具はPCBが含まれているか確認し、	
直ちに監督員に報告すること。	

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	谷田	
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事			
図名	配置図			
倉森・倉敷構造設計共同体				
1級建築士第169969号 赤木 定	設 計 担 当		令和7年 2月作成	
	福家		図番	E-02

配置図	A2/1:200	A3/1:300
-----	----------	----------

湯沸室	
FL40W x 1	逆富士形露出 x 1



テレビ機器収納壁
銅製 壁掛型
W:500 x H:650 x D:150
・4分配器 x 1
・2分配器 x 1
・ミキサー x 1
・プースター x 1
・セパレーションフィルター x 1
・露出コンセント2P15A x 2 x 1

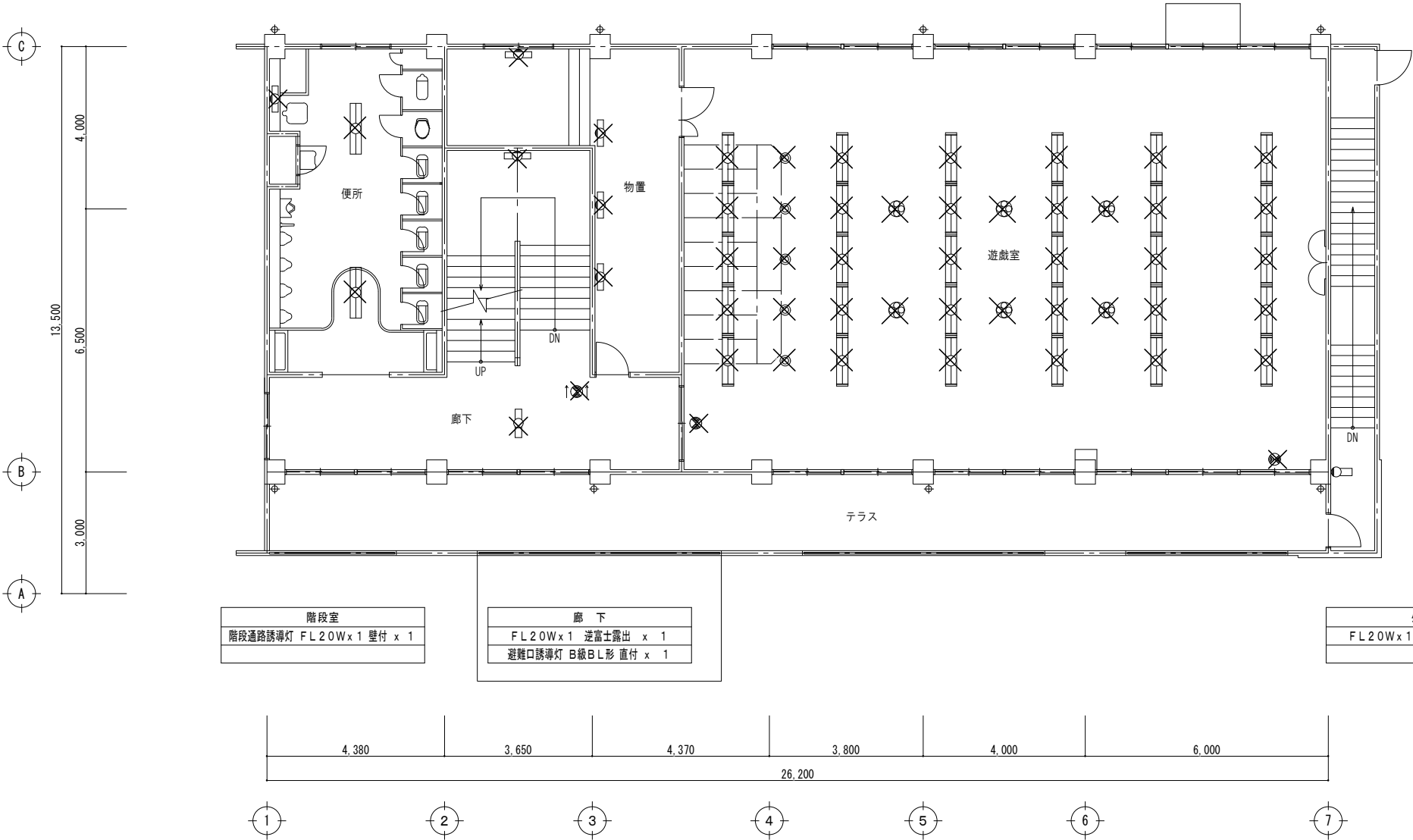
倉庫
FL40W x 1 逆富士露出 x 1

テレビ機器収納壁
500x650x150

A棟中3階平面図 S:1/100

便所
FL40W x 2 逆富士露出 x 2
FL20W x 1 ミラーライト x 1

物置
FL20W x 1 片反射笠壁付 x 4



遊戯室
FL40W x 2 パネル付埋込 x 30
1L100W ダウンライト x 5
避難口誘導灯 B級B.L形 パイプ吊 x 2
天井扇風機 x 6

階段室
階段通路誘導灯 FL20W x 1 壁付 x 1

廊下
FL20W x 1 逆富士露出 x 1
避難口誘導灯 B級B.L形 直付 x 1

外壁
FL20W x 1 ブラケット x 1

= 凡例 =

	FL 20W x 1	ブラケット
	FL 20W x 1	ミラーライト
	FL 20W x 4	埋込
	FL 40W x 1	露出
	FL 40W x 2	露出
	FL 40W x 2	埋込
	1L 100W	ダウンライト
	LED B級B.L形	パイプ吊
	LED B級B.L形	直付
	FL 20W x 1 電池内蔵	壁付
	天井扇風機	

= A棟2階 撤去品リスト =

名 称	仕 様	数 量
蛍光灯	FL 20W x 1 ブラケット	1
〃	FL 20W x 1 壁付	5
〃	FL 20W x 1 露出	1
〃	FL 40W x 1 露出	1
〃	FL 40W x 2 露出	2
〃	FL 40W x 2 埋込	30
白熱灯	1L 100W ダウンライト	5
避難口誘導灯	LED B級B.L形 パイプ吊	2
〃	LED B級B.L形 直付	1
階段通路誘導灯	FL 20W x 1 電池内蔵 壁付	1
天井扇風機		6

A棟2階平面図 S:1/100

※特記事項

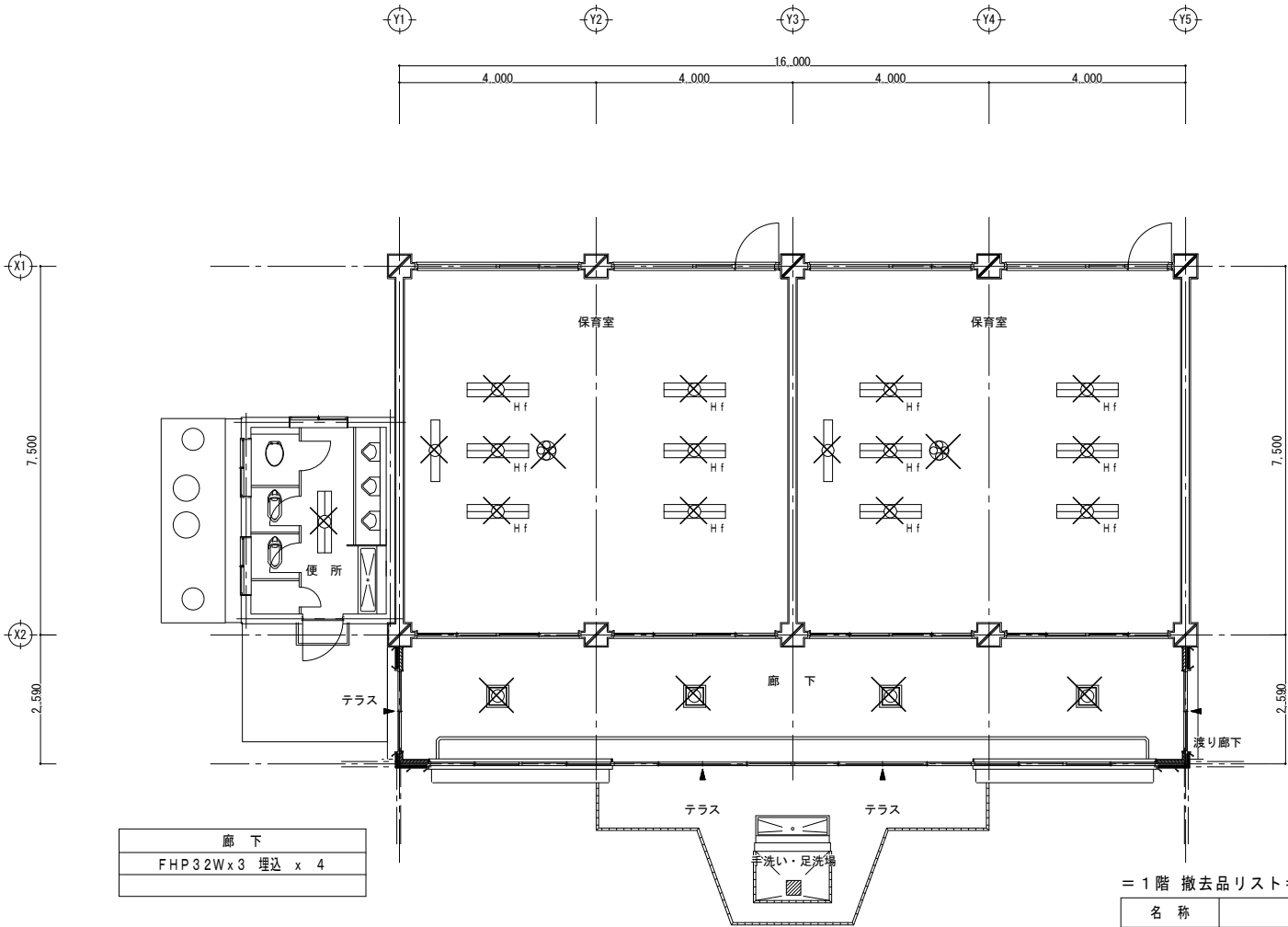
- ・撤去する照明器具はPCBが含まれているか確認し、直ちに監督員に報告すること。

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	谷田
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事		
図名	電気設備撤去 A棟 2階平面図		
倉森・倉敷構造設計共同体			
1級建築士第169969号 赤木 定	設計担当	令和7年 2月作成	
	福家	図番	E-04

便 所
FL40Wx2 逆富士形露出 x 1

保育室
Hf32Wx2 下面開放形露出 x 6
Hf32Wx1 黒板灯パイプ吊 x 1
天井扇風機 x 1

保育室
Hf32Wx2 下面開放形露出 x 6
Hf32Wx1 黒板灯パイプ吊 x 1
天井扇風機 x 1



B棟平面図 S = 1 / 1 0 0

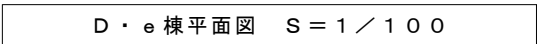
= 1 階 撤去品リスト =

名 称	仕 様	数 量
蛍光灯	FHP 32Wx3 埋込	4
"	FL 40Wx2 露出	1
"	Hf 32Wx1 パイプ吊	2
"	Hf 32Wx2 露出	12
天井扇風機		2

= 凡 例 =

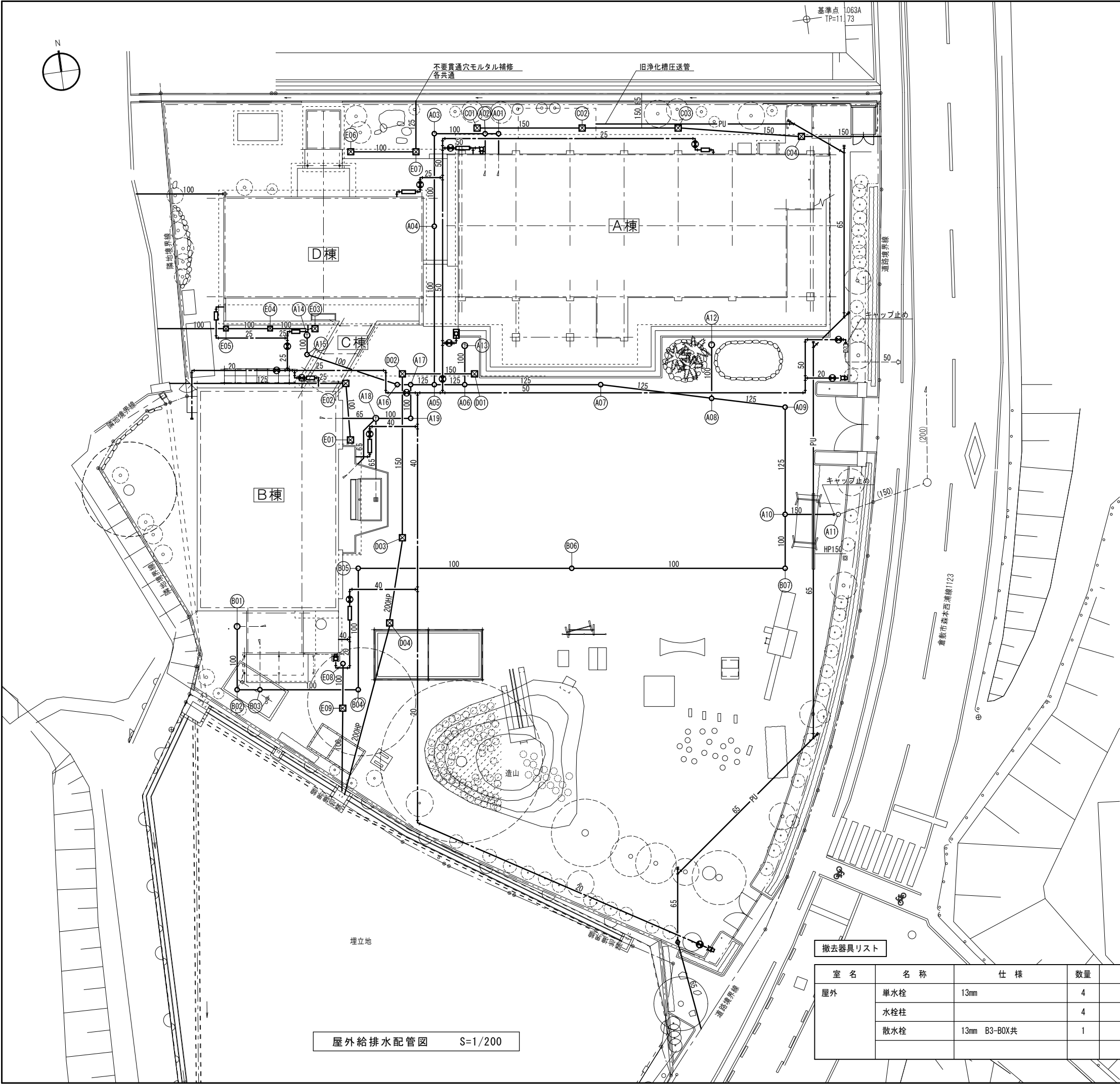
	FHP 32Wx3 埋込
	FL 40Wx2 露出
	Hf 32Wx1 パイプ吊
	Hf 32Wx2 露出
	天井扇風機

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	谷田
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事		
図名	電気設備撤去 B棟 平面図		
倉森・倉敷構造設計共同体			
1級建築士第169969号 赤木 定	設計担当	令和7年 2月作成	
	福家	図番	E-05



= 凡例 =		
	FL 40Wx1	露出
	Hf 32Wx2	露出
	天井扇風機	

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	谷田	
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事			
図名	電気設備撤去 D・E棟 平面図			
倉森・倉敷構造設計共同体				
1級建築士第169969号 赤木 定	設計担当		令和7年 2月作成	
	福家		図番	E-06



撤去樹リスト

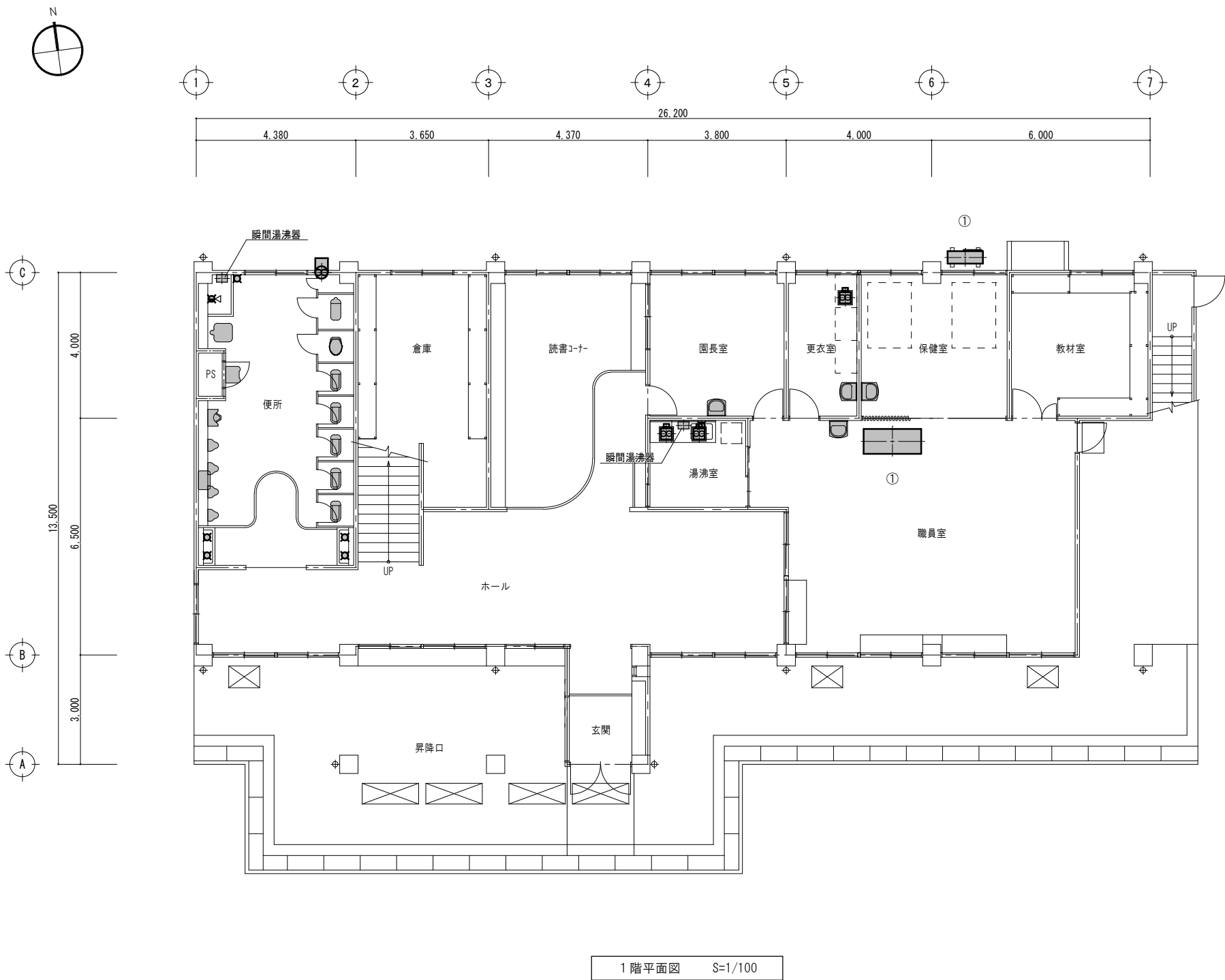
記号	名 称	樹寸法	樹高さ	備 考
A01	インバート樹 塩ビ製小口径樹	100_150φ	GL - 370	塩ビ蓋
A02	” ”	”	GL - 390	”
A03	” ”	”	GL - 500	”
A04	” ”	”	GL - 850	”
A05	” ”	125_200φ	GL - 700	”
A06	” ”	”	GL - 790	”
A07	” ”	”	GL - 1240	”
A08	” ”	”	GL - 1300	”
A09	” ”	”	GL - 1380	”
A10	” ”	150_200φ	GL - 1480	”
A11	” ”	取付樹	GL - 1500	存置
A12	トラップ樹 ポリプロピレン製	300φ	GL - 600	レジコン蓋
A13	” ”	”	GL - 600	”
A14	” ”	”	GL - 300	”
A15	インバート樹 塩ビ製小口径樹	100_150φ	GL - 360	塩ビ蓋
A16	ドロップ樹 ”	100_150φ	GL - 620	”
A17	インバート樹 ”	125_200φ	GL - 700	”
A18	トラップ樹 ポリプロピレン製	300φ	GL - 600	レジコン蓋
A19	ドロップ樹 塩ビ製小口径樹	100_150φ	GL - 680	塩ビ蓋
B01	トラップ樹 ポリプロピレン製	300φ	GL - 360	レジコン蓋
B02	インバート樹 塩ビ製小口径樹	100_150φ	GL - 420	塩ビ蓋
B03	” ”	”	GL - 450	”
B04	” ”	”	GL - 700	”
B05	” ”	150_200φ	GL - 750	”
B06	” ”	”	GL - 1010	”
B07	” ”	”	GL - 1200	”
C01	雨水ため樹 R C製	450×450	GL - 630	鉄板蓋
C02	” ”	”	GL - 720	”
C03	” ”	”	GL - 760	”
C04	” ”	”	GL - 820	”
D01	雨水ため樹 R C製	450×450	GL - 400	鉄板蓋
D02	” ”	”	GL - 704	”
D03	” ”	”	GL - 755	”
D04	” ”	”	GL - 800	”
E01	雨水ため樹 R C製	300×300	GL - 300	R C蓋
E02	” ”	450×450	GL - 520	鉄板蓋
E03	” ”	”	GL - 450	”
E04	” ”	250×250	GL - 450	グレーチング
E05	” ”	”	GL - 450	”
E06	” ”	300×300	GL - 320	R C蓋
E07	” ”	”	GL - 450	”
E08	” ”	”	GL - 300	レジコン蓋
E09	” ”	”	GL - 350	R C蓋

注記
・ 不要貫通穴は、モルタル補修をすること。

撤去器具リスト

室 名	名 称	仕 様	数 量	備 考
屋外	単水栓	13mm	4	
	水栓柱		4	
	散水栓	13mm B3-BOX共	1	

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	徳田	
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事			
図名	屋外給排水配管図			
倉森・倉敷構造設計共同体				
1級建築士第169969号 赤木 定	設 計 担 当		令和7年2月作成	
	平井		図番	M－01



撤去器具リスト

室名	名称	仕様	数量	備考
便所	洋風便器	C425 TV15OND	1	
	幼児用便器	C103 TV150N	5	
	和風大便器	C375V TV150NC	1	
	小便器	U308	4	
	〃	U37	1	
	ハイタンク	S49	1	
	掃除用流し	SK22A	1	
	洗濯流し	SK504	1	
	単水栓	13mm	5	
	化粧鏡	600×300	2	
	シャワー水栓	13mm	1	
	瞬間湯沸器	12号	1	
	壁付換気扇	30cm FD付ケザー・カハー共	1	
園長室	洗面化粧台	500φ17〃 S3 TS119AS3	1	
更衣室	洗面化粧台	500φ17〃 S3 TS119AS3	1	
	天井換気扇	150φ	1	
保健室	洗面化粧台	500φ17〃 S3 TS119AS3	1	
職員室	洗面化粧台	500φ17〃 S3 TS119AS3	1	
湯沸室	単水栓	13mm	1	
	瞬間湯沸器	5号	1	
	天井換気扇	150φ	2	

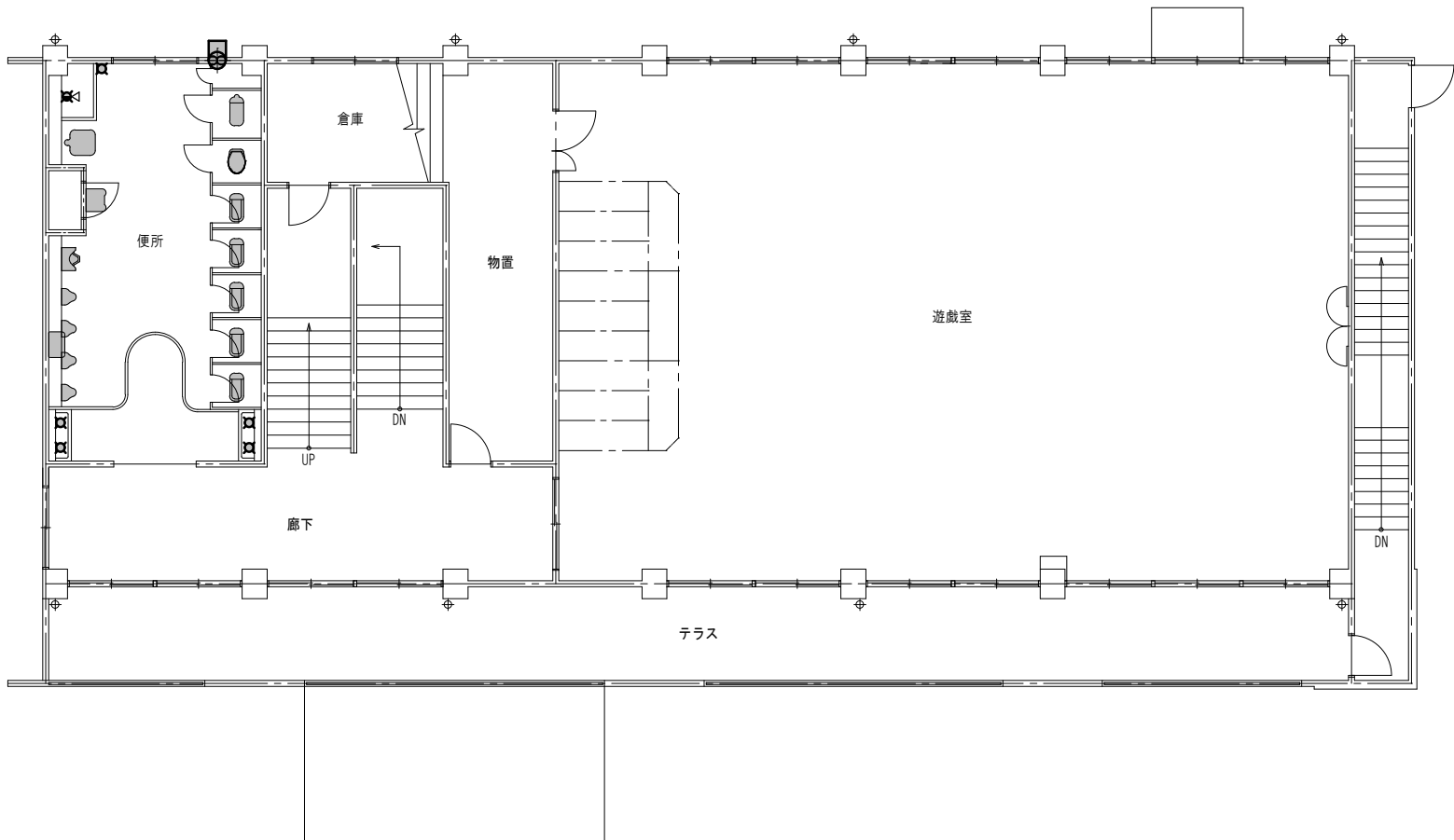
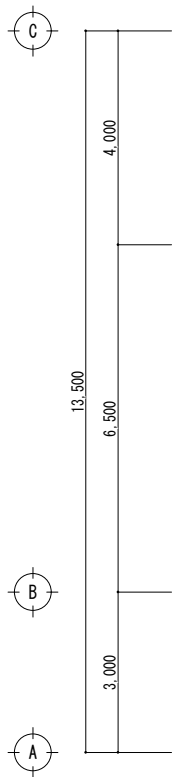
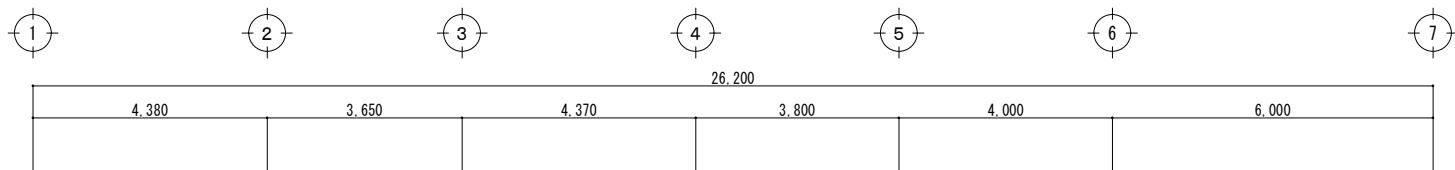
・和風大便器の撤去は、建築工事とする。

撤去空調機リスト

記号	名称	品番	冷房/暖房能力	冷媒/充填量(kg)	参考外形寸法	重量(kg)	備考
①	パッケージ空調機 天井吊形	PCHZ-J140EKE (三菱)	12.5 (5.6~14.0) kW 16.0 (7.1~18.0) kW	R22 6.60	内 1580×680×256H 外 970×345×1258H	52 125	1階職員室

・フロン回収・破壊法に基づき、第1種特定製品（業務用冷凍空調機）は、第1種フロン類回収業者へフロン類を引き渡すこと。

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	徳田	
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事			
図名	A棟 1階平面図			
倉森・倉敷構造設計共同体				
1級建築士第169969号 赤木 定	設 計 担 当		令和7年2月作成	
	平井		図番	M-02



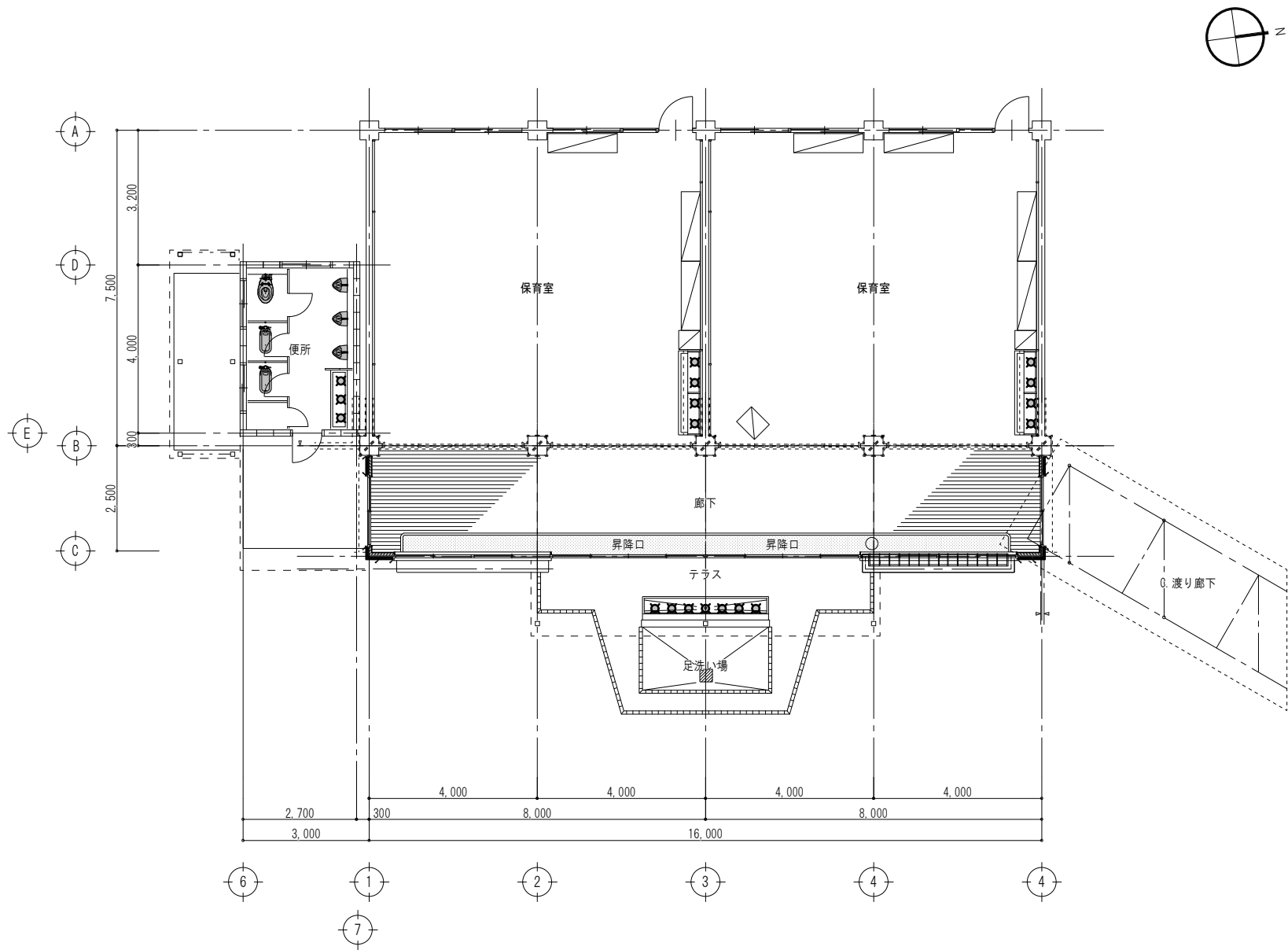
2階平面図 S=1/100

撤去器具リスト

室 名	名 称	仕 様	数 量	備 考
便所	洋風便器	C425 TV150ND	1	
	幼児用便器	C103 TV150N	5	
	和風大便器	C375V TV150NC	1	
	小便器	U308	4	
	〃	U37	1	
	ハイタンク	S49	1	
	掃除用流し	SK22A	1	
	洗濯流し	SK504	1	
	単水栓	13mm	5	
	化粧鏡	600×300	2	
	シャワー水栓	13mm	1	
	壁付換気扇	30cm FD付カブリ-カバー-共	1	

・和風大便器の撤去は、建築工事とする。

倉敷市建設局建築部公共建築課		担当	徳田
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事		
図名	A棟 2階平面図		
倉森・倉敷構造設計共同体			
1級建築士第169969号 赤木 定	設計担当	令和7年2月作成	
	平井	図番	M-03

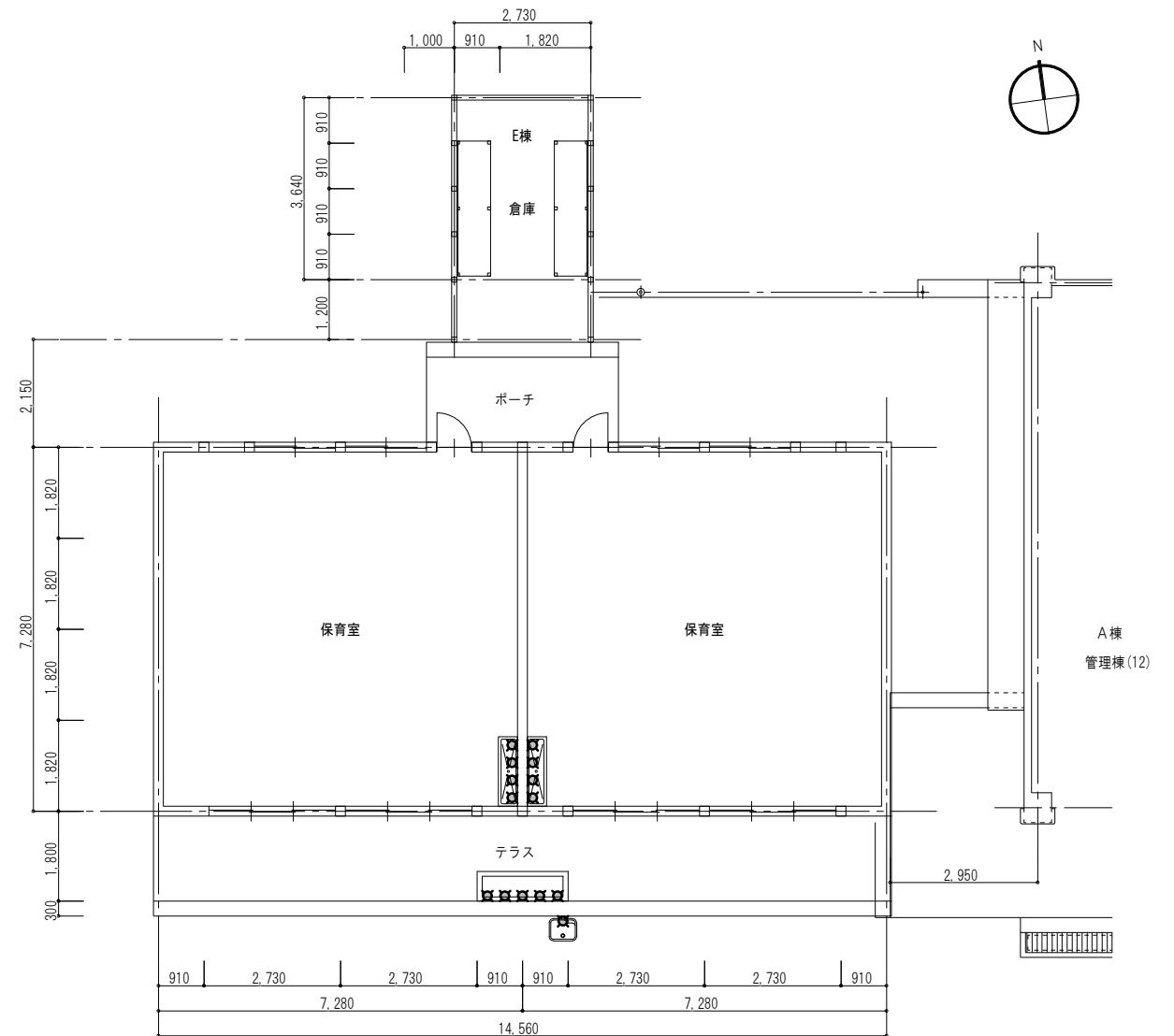


B棟平面図 S=1/100

B棟撤去器具リスト

室名	名称	仕様	数量	備考
便所	洋風便器	C14RS TV750LR	1	
	和風大便器	C750VZ TV750CR	2	
	小便器	U308C T60PS	3	
	単水栓	13mm	3	
	化粧鏡	TS119ASAY3	3	
保育室	単水栓	13mm	8	
テラス	単水栓	13mm	7	

・和風大便器の撤去は、建築工事とする。



D棟平面図 S=1/100

D棟撤去器具リスト

室名	名称	仕様	数量	備考
保育室	単水栓	13mm	8	
テラス	単水栓	13mm	6	
	ガーデンパン	500φ17	1	

倉敷市建設局建築部公共設備課		担当	徳田
工事名	旧倉敷市立柏島幼稚園園舎ほか解体工事		
図名	B棟, D棟 平面図		
倉森・倉敷構造設計共同体			
1級建築士第169969号 赤木 定	設 計 担 当	令和 7 年 2 月 作 成	
	平井	図番	M - 0 4